玉 野 総 合 医 療 専 門 学 校

学　　則

玉野総合医療専門学校学則

第１章　総則

（目的）

第１条　本校は、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に従い、高度の専門的知識と技能及び幅広い教養を兼備した優秀な保健師、看護師、理学療法士、作業療法士及び介護福祉士を養成することを目的とする。

（名称及び位置）

第２条　本校は、玉野総合医療専門学校（以下「学校」という）という。

２　学校の位置は、岡山県玉野市築港１丁目１番20号とする。

第２章　課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

（課程、学科、修業年限、定員）

第３条　学校の課程、学科及び修業年限並びに定員等は、次のとおりとする。

課　　程　　名	学　科　名	修業年限	入学定員	総定員	学級数
医療専門課程	保健看護学科	４年	40名	160 名	4
	理学療法学科	４年	40名	160 名	4
	作業療法学科	４年	40名	160 名	4
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	２年	0名	40 名	1

２　医療専門課程保健看護学科は、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第19条第２号及び第21条第３号の規定による保健師養成所及び看護師養成所であり統合カリキュラムによる４年課程とする。

３　医療専門課程理学療法学科及び作業療法学科は、理学療法士及び作業療法士法（昭和40年法律第137号）第11条第１号及び同法第12条第１号の規定による理学療法士養成施設及び作業療法士養成施設４年課程とする。

４　教育・社会福祉専門課程介護福祉学科は、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第130号）第39条第１号の規定による介護福祉士養成施設２年課程とする。

（在学期間）

第４条　在学期間は、疾病その他の事由によりこれを延長することはできるが、修業年限の２倍を超えることはできない。

（学年、学期）
第５条　学校の学年は、４月１日に始まり翌年３月31日に終わる。
２　学年を次の２学期に分ける。
　　前期　　４月　１日から　９月30日まで
　　後期　　10月　１日から　３月31日まで

（休業日）
第６条　学校の休業日は、次のとおりとする。
⑴土曜日及び日曜日
⑵国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する日
⑶創立者の日（４月30日）
⑷学園創立記念日（５月４日）
⑸春期休業日（４月１日から４月４日まで）
⑹夏期休業日（７月25日から８月31日まで）
⑺冬期休業日（12月24日から１月７日まで）
⑻学年末休業日（３月21日から３月31日まで）
２　前項の規定にかかわらず、校長は、特に必要があると認める場合は、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第３章　教育課程、授業時数及び単位認定

（教育課程、授業時数）
第７条　学校の教育課程及び授業時数及び単位数は、別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳのとおりとする。
２　卒業までに履修させる授業時数及び単位数は、別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳに定める授業時数及び単位数とし、保健看護学科にあっては3,795時間131単位以上、理学療法学科にあっては3,470時間119単位以上、作業療法学科にあっては3,400時間116単位以上、介護福祉学科にあっては2,034時間69単位以上とする。

（成績評価及び単位認定）
第８条　授業科目の成績評価及び単位認定は、所定の授業時数を出席し、各学期末の試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、合格したとき当該学科目を履修したものと認定する。
２　成績評価は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、優・良・可・不可の標語を用い、不可を不合格とする。
３　合格点に達しない授業科目につき、再試験を行うことができる。
４　試験に欠席した学生で、その理由が正当であると認められたものには、追試験を行うことができる。
５　各授業科目の欠席時間数が別表に定める授業時間数の３分の１を超えるものについては、当該授業

科目の単位の認定及び履修の認定はしない。

６　介護福祉学科の学生については、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（昭和60年厚生省令第50号。以下「指定規則」という。）別表４に基づき編成された各科目（介護実習を除く。）の出席時数が指定規則に定める時間数の３分の２（介護実習については５分の４）に満たないものは、当該科目の履修の認定はしない。

７　既修得単位の認定については、別に定める。

８　履修に関する詳細は別に定める。

第４章　入学

（入学時期）

第９条　学校の入学時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第10条　本校に入学することのできるものは、次の各号の一に該当するものとする。

⑴高等学校又は中等教育学校を卒業したもの

⑵通常の課程による12年の学校教育を修了したもの（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了したものを含む。）

⑶外国において、学校教育における12年の課程を修了したもの又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの

⑷文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了したもの

⑸専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了したもの

⑹文部科学大臣の指定したもの

⑺高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格したもの（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格したものを含む。）

⑻学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学したものであって、本校における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑼本校において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものに準ずる学力を有すると認めたもので、18歳に達したもの

（出願手続）

第11条　学校に入学を志望するものは、入学願書に必要事項を記載して、第25条に定める入学検定料及び別に指定する必要書類を添えて願い出なければならない。

２　入学願書の受付期間は、別に定める。

（入学試験）

第12条　前条の手続を終了したものに対して、入学試験を行う。

（入学許可）
第13条　前条の入学試験に合格したものは、校長が入学を許可する。

（入学手続）
第14条　学校に入学を許可されたものは、指定の期日までに所定の入学手続を完了しなければならない。
２　前項の手続を怠るときは、入学の許可を取り消すことがある。

第５章　休学、転学及び退学

（休学）
第15条　学生が疾病その他の事由により引き続き３か月以上就学困難な場合は、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて、保証人連署をもって校長に願い出て許可を受け休学することができる。
２　疾病その他の事由により就学することが適当でないと認められる学生に対して、校長は、期間を定めて休学を命ずることがある。
３　休学期間は、通算して２年を超えることができない。
４　休学期間は、在学期間に算入しない。
５　休学期間であっても事由が消滅し、復学しようとするときは、復学願を提出して校長の許可を受け復学することができる。

（転学及び転入学）
第16条　学生が他の学校へ転学を希望するときは、校長に願い出て許可を受けなければならない。
２　学校へ転入学を希望するものについては、欠員のある場合に限り、かつ、前の学校の教育進展状況が同程度又はそれ以上である場合に限り、校長は、選考の上これを許可することができる。ただし、教育・社会福祉専門課程（介護福祉学科）においては、平成21年３月以前の同教育課程のものの場合は、転入学を認めない。

（自主退学）
第17条　学生が疾病その他の事由により、自主退学しようとするときは、医師の診断書又は詳細な事由書を添えて、保証人連署の上で校長に願い出て許可を得なければならない。

第６章　卒業

第18条　第8条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は、課程修了の認定を行う。
２　所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めたものには、卒業証書を授与する。
３　欠席日数が出席すべき日数の３分の１を超えるものについては、原則として卒業を認めない。

（称号の授与）

第19条　前条により、２年課程の専門課程を修了したものは、専門士と称することができる。
２　４年課程の専門課程を修了したものは、高度専門士と称することができる。

第７章　褒賞、懲戒及び除籍

（褒賞）
第20条　学生が成績優秀にして他の模範となるものについて、校長は、これを褒賞することができる。

（懲戒）
第21条　学生が学校の規則に違反し、学校内の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、校長は、これを懲戒することができる。なお、懲戒に関する規程は、別に定める。
２　懲戒の種類は、次のとおりとする。
⑴訓告
⑵停学
⑶退学
３　停学が引続き３か月以上にわたるときは、その期間は、修業年限に算入しない。
４　学生が次の各号のいずれかに該当するときは、校長は、これを退学に処することができる。
⑴性行不良で改善の見込がないと認められるもの
⑵正当な理由もなくて出席が常でなく成業の見込のないもの
⑶学校内の秩序を乱し、著しく学生の本分に反したもの
⑷学力劣等で成業の見込みがないと認められるもの

（除籍）
第22条　学生が次の各号のいずれかに該当するときは、校長は、これを除籍することができる。
⑴留年又は卒業延期となったもので必要な履修手続を行わないもの
⑵３か月以上無断欠席が続き、その所在が不明のもの
⑶第4条の在学期間在籍してなお卒業が認められないもの
⑷正当な事由なく、授業料その他の納付金の義務を怠り、再三催促を受けてもなお納入しないもの

第８章　教職員

第23条　学校の教職員は、次のとおりとする。

⑴校長	１名
⑵副校長	１名以上
⑶事務長	１名
⑷学科長	各学科１名
⑸教務主任	各学科１名
⑹学生指導主任	各学科１名

⑺実習調整者　　１名以上（保健看護学科）
⑻実習指導教員　　５名以上（保健看護学科）
⑼専任教員　　29名以上
(9-1)保健看護学科　　14名以上
(9-2)介護福祉学科　　３名以上
(9-3)理学療法学科　　６名以上
(9-4)作業療法学科　　６名以上
⑽講師　　若干名
⑾事務職員　　４名以上
⑿校務員　　１名
⒀学校医　　１名
⒁その他必要な職員

第９章　会議

第24条　学校に次の会議を置く。
⑴学校運営会議
⑵職員会議
⑶講師連絡会議
⑷実習指導者会議
⑸教務主任会議
⑹学生指導主任会議
⑺広報委員会
⑻自己評価委員会
⑼倫理委員会
⑽その他校長が必要と認めた会議
２　会議に関する必要な規程は、別に定める。

第10章　入学金及び授業料等

（入学金、授業料等）
第25条　学校の納付金は、別表Ｖのとおりとする。
２　前項の納付金は、別に定める規程により納入しなければならない。

第26条　休学者の納付金の取り扱いは別に定める。

第27条　退学、転学及び停学者は、その学期の納付金は、全額納入しなければならない。

第28条　授業料その他の納付金を６か月以上滞納したものは、除籍することができる。

第29条　在学中授業料その他の納付金に変更があるときは、新たに定められた金額をその学期から納入しなければならない。

第30条　既納の納付金は、一切返還しないものとする。

第11章　健康診断

第31条　学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第13条の規定に基づき健康診断を毎年１回定期的に行う。
２　健康診断に関する規程は、別に定める。

第12章　附帯教育事業

第32条　附帯教育事業として、次のとおり講座を設置することができる。

講座名	講座期間	時間数	定員	備考
介護技術講習	４日間	32時間	40名	

２　講座の講習料は、別に定める。

第13章　雑則

第33条　この学則の施行について必要な細則は、校長が別に定める。

（改廃）
第34条　玉野総合医療専門学校学則の改正は、学校運営会議及び職員会議の審議を経て、理事会で決定する。

附　則
　この学則は、平成10年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成11年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成12年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成13年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成14年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成17年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部科学大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成18年４月１日から施行する。ただし、第19条の専門士の称号授与に関する規程の施行は、文部科学大臣の告示後とする。

附　則
　この学則は、平成21年４月１日から施行する。なお、平成21年度入学生から適用する。

附　則
　この学則は、平成24年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第７条、第23条については従前の規定による。

附　則
　この学則は、平成26年４月１日から施行する。ただし、この改正前に入学した学生は、第７条については従前の規定による。

附　則
　この学則は、平成27年４月１日から施行する。なお、平成27年度入学生から適用する。

附　則
　この学則は、平成30年４月１日から施行する。

附　則（令和元年９月２４日 第７回理事会）
　この学則は、令和２年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第７条につ

いては、従前の規定による。

附　則（令和２年２月２５日 第１３回理事会）

　この学則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、この改正以前に入学した学生は、第３条については、従前の規定による。

医療専門課程　保健看護学科　　別表Ⅰ

授業科目			単位数			年間授業時数								
						1年		2年		3年		4年		合計
			講義	実習	計	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎	哲学と倫理	1		1	20								20
		法学	1		1	20								20
		情報科学	1		1	20								20
		看護に必要な物理学	1		1	15								15
		教育原理	1		1		15							15
		教育学方法論	1		1				30					30
		論理的思考	1		1	20								20
	人間と生活・社会の理解	人間理解の心理学	1		1		20							20
		人間関係論－基礎	1		1		20							20
		人間関係論－実践	1		1				20					20
		生活科学	1		1	20								20
		英語	1		1	30								30
		健康スポーツ科学	1		1	30								30
		音楽とレクリエーション	1		1		30							30
	小計		14	0	14	175	85	0	50	0	0	0	0	310
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体機能学入門	1		1	30								30
		解剖生理学Ⅰ（呼吸器・循環器・血液・免疫）	1		1	20								20
		解剖生理学Ⅱ（消化器・代謝・内分泌）	1		1	20								20
		解剖生理学Ⅲ（運動器・脳・神経・感覚器・腎・泌尿器・生殖器）	1		1	30								30
		生化学	1		1	15								15
	疾病の成り立ちと回復の促進	基礎病理学	1		1	20								20
		病態論Ⅰ（呼吸器）	1		1		15							15
		病態論Ⅱ（循環器・血液・造血器・免疫）	1		1		30							30
		病態論Ⅲ（消化器・歯・口腔）	1		1		20							20
		病態論Ⅳ（脳・神経・運動器）	1		1		30							30
		病態論Ⅴ（内分泌・代謝・アレルギー・膠原病・感染症）	1		1			30						30
		病態論Ⅵ（腎・泌尿器・女性生殖器）	1		1			20						20
		病態論Ⅶ（眼・耳鼻咽喉・皮膚）	1		1				20					20
		症状と病態Ⅰ（基礎）	1		1		20							20
		症状と病態Ⅱ（総合）	1		1								30	30
		検査と治療とリハビリテーション	1		1		30							30
		生物・微生物学	1		1	20								20
		薬理学	1		1		15							15
		臨床薬理学	1		1			20						20
		代謝栄養学	1		1		15							15
		臨床栄養学	1		1			20						20
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	1		1			30						30
		環境保健	1		1							15		15
		社会保障論Ⅰ（概論）	1		1			30						30
		社会保障論Ⅱ（社会福祉）	1		1				30					30
		保健医療福祉行政論Ⅰ（医療・保健）	1		1						30			30
		保健医療福祉行政論Ⅱ（福祉）	1		1						30			30
		保健医療福祉行政論Ⅲ（施策化演習）	1		1							30		30
		看護と法規	1		1							20		20
	健康現象の疫学と統計	疫学Ⅰ（疫学調査方法）	1		1					30				30
		疫学Ⅱ（分析方法）	1		1						30			30
		保健統計・情報処理Ⅰ（保健統計の見方）	1		1			30						30
		保健統計・情報処理Ⅱ（推論方法）	1		1				30					30
	小計		33	0	33	155	175	180	80	30	90	65	30	805
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		1	30								30
		共通看護技術論Ⅰ（安全・安楽・対象把握）	2		2	45								45
		共通看護技術論Ⅱ（看護過程の展開技術）	1		1			30						30
		日常生活援助技術論Ⅰ（環境・活動）	1		1	30								30
		日常生活援助技術論Ⅱ（睡眠・食事・排泄・清潔）	2		2		60							60
		回復促進援助技術論Ⅰ（診療の補助技術）	2		2		60							60
		回復促進援助技術論Ⅱ（臨床看護総論）	1		1			30						30
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ（日常生活援助）		1	1		45							45
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）		2	2				90					90
	小計		10	3	13	105	165	60	90	0	0	0	0	420

医療専門課程　保健看護学科　　別表Ⅰ

授業科目			単位数			年間授業時数								
						1年次		2年次		3年次		4年次		合計
			講義	実習	計	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学概論	1		1		20							20
		成人看護学-実践Ⅰ　(呼吸・循環機能障害)	1		1			30						30
		成人看護学-実践Ⅱ　(脳・神経・運動機能障害)	1		1			30						30
		成人看護学-実践Ⅲ　(消化・吸収・代謝機能障害)	1		1				30					30
		成人看護学-実践Ⅳ　(排泄・生殖・生体防御機能障害)	1		1				30					30
		成人看護学総合	1		1								30	30
	老年看護学	老年看護学概論	1		1		15							15
		老年看護学-基礎	1		1			15						15
		老年看護学-療養支援	1		1			30						30
		老年看護学-生活支援	1		1						15			15
		老年看護学総合	1		1								15	15
	小児看護学	小児看護学概論	1		1			30						30
		小児看護学-基礎	1		1			20						20
		小児看護学-実践	1		1				20					20
		小児看護学総合	1		1								20	20
	母性看護学	母性看護学概論	1		1			15						15
		母性看護学-基礎	1		1			30						30
		母性看護学-実践	1		1				30					30
		母性看護学総合	1		1								15	15
	精神看護学	精神看護学概論	1		1		20							20
		精神看護学-基礎	1		1			20						20
		精神看護学-実践	1		1				30					30
		精神看護学総合	1		1							20		20
	臨地実習	成人看護学実習Ⅰ(周手術期)		2	2					45	45			90
		成人看護学実習Ⅱ(回復期)		2	2					45	45			90
		成人看護学実習Ⅲ(慢性期・終末期)		2	2					45	45			90
		老年看護学実習Ⅰ(療養支援)		2	2				90					90
		老年看護学実習Ⅱ(生活支援)		2	2						90			90
		小児看護学実習		2	2					45	45			90
		母性看護学実習		2	2					45	45			90
		精神看護学実習		2	2					45	45			90
	小計		23	16	39	0	55	220	230	270	375	20	80	1250
統合分野	在宅看護論	在宅看護論概論	1		1					30				30
		在宅看護論－生活支援	1		1						15			15
		在宅看護論－療養支援	1		1						30			30
		在宅看護論総合	1		1								15	15
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論Ⅰ(基礎)	1		1			20						20
		公衆衛生看護学概論Ⅱ(展開)	1		1				20					20
		公衆衛生看護技術論Ⅰ(保健指導)	1		1				30					30
		公衆衛生看護技術論Ⅱ(個人・家族の支援)	1		1					30				30
		公衆衛生看護技術論Ⅲ(集団・地域の支援)	1		1						30			30
		公衆衛生看護技術論Ⅳ(地域診断演習)	1		1							30		30
		公衆衛生看護技術論Ⅴ(健康教育演習)	1		1							30		30
		公衆衛生看護活動論Ⅰ(母子・成人・歯科)	1		1						30			30
		公衆衛生看護活動論Ⅱ(高齢者・精神・障害者・難病)	1		1							30		30
		公衆衛生看護活動論Ⅲ(感染症・災害看護)	1		1							20		20
		公衆衛生看護活動論Ⅳ(学校保健)	2		2							45		45
		公衆衛生看護活動論Ⅴ(産業保健)	1		1							30		30
		公衆衛生看護管理論	1		1								30	30
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ(技術の確認)	1		1					30				30
		看護の統合と実践Ⅱ(技術の確認)	1		1								30	30
		看護と研究	1		1					30				30
		看護管理と医療安全	1		1							30		30
		国際看護・災害看護	1		1							20		20
	臨地実習	在宅看護論実習		2	2							90		90
		公衆衛生看護学実習Ⅰ(行政)		3	3								135	135
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校)		2	2								90	90
		看護統合実習		2	2							90		90
	小計		23	9	32	0	0	20	50	120	105	415	300	1010
合　　計			103	28	131	講435	講435	講480	講320	講150	講210	講320	講185	
						38単位		31単位		13単位		21単位		
						実45		実180		実630		実405		
						1単位		4単位		14単位		9単位		
			総時間数			時間数		時間数		時間数		時間数		
			3795			915		980		990		910		
			総単位数			単位数		単位数		単位数		単位数		
			131			39		35		27		30		

医療専門課程　理学療法学科　　別表Ⅱ

区分		授業科目	単位数				年間授業時数								合計
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基盤	倫理学	1			1	15								15
		教育原理	1			1	15								15
		心理学	1			1	30								30
		情報科学	1			1	30								30
		文章表現法	1			1	30								30
	人間と生活	公衆衛生学	1			1		30							30
		生物学	1			1	15								15
		英語	1			1	15								15
		医学英語	1			1		30							30
		スポーツ科学	1			1	15								15
	社会の理解	社会福祉学	1			1	30								30
		コミュニケーション論	1			1	30								30
		コミュニケーション演習		1		1		15							15
		人と地域の交流	1			1				15					15
	計		13	1	0	14	225	75	0	15	0	0	0	0	315
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1			1	30								30
		解剖学Ⅱ	1			1	30								30
		解剖学Ⅲ	1			1		30							30
		解剖学演習Ⅰ		1		1	30								30
		解剖学演習Ⅱ		1		1		30							30
		表面解剖学演習		1		1			30						30
		生理学Ⅰ	1			1	30								30
		生理学Ⅱ	1			1		30							30
		生理学演習		1		1			30						30
		運動学Ⅰ	1			1	30								30
		運動学Ⅱ	1			1		30							30
		運動学Ⅲ	1			1		30							30
		神経生理学Ⅰ	1			1			30						30
		神経生理学Ⅱ	1			1				30					30
	計		10	4	0	14	150	150	90	30	0	0	0	0	420
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1			1			15						15
		内科学Ⅱ	1			1				30					30
		整形外科学Ⅰ	1			1			15						15
		整形外科学Ⅱ	1			1				30					30
		神経内科学Ⅰ	1			1			15						15
		神経内科学Ⅱ	1			1				30					30
		小児科学	1			1				30					30
		外科学	1			1				15					15
		脳外科学	1			1				15					15
		病理学	1			1			30						30
		栄養学	1			1	15								15
		人間発達学	1			1			30						30
		環境感染症概論	1			1			15						15
		精神医学Ⅰ	1			1	15								15
		精神医学Ⅱ	1			1		30							30
		老年期障害学	1			1				30					30
		臨床心理学	1			1			30						30
		救急救命法	1			1		30							30
	計		18	0	0	18	30	60	150	180	0	0	0	0	420
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1			1	15								15
		リハビリテーション各論	1			1		30							30
		リハビリテーション医学	1			1				30					30
		リハビリテーション工学	1			1								15	15
	計		4	0	0	4	15	30	0	30	0	0	0	15	90
	基礎理学療法学	理学療法概論	1			1			30						30
		理学療法研究法	1			1					30				30
		理学療法研究法演習		1		1								30	30
		運動療法学	1			1			30						30
		運動療法演習		1		1				15					15
		理学療法特論	1			1								30	30
	計		4	2	0	6	0	0	60	15	30	0	0	60	165

医療専門課程　理学療法学科　　別表Ⅱ

区分		授業科目	単位数				年間授業時数								合計
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
理学療法専門分野	理学療法管理学	理学療法管理学	2			2								30	30
	計		2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	30	30
	理学療法評価学	基礎評価学Ⅰ	1			1		30							30
		基礎評価学演習Ⅰ		1		1		30							30
		基礎評価学Ⅱ	1			1			30						30
		基礎評価学演習Ⅱ		1		1			30						30
		臨床評価学	1			1					30				30
		臨床評価学演習		1		1					30				30
		動作分析学	1			1				30					30
		動作分析演習		1		1				30					30
	計		4	4	0	8	0	60	60	60	60	0	0	0	240
	理学療法治療学	物理療法学	1			1				30					30
		物理療法演習		1		1				15					15
		運動系理学療法学Ⅰ	1			1					30				30
		運動系理学療法演習Ⅰ		1		1					30				30
		運動系理学療法学Ⅱ	1			1						30			30
		運動系理学療法演習Ⅱ		1		1						30			30
		神経系理学療法学Ⅰ	1			1					30				30
		神経系理学療法演習Ⅰ		1		1						30			30
		神経系理学療法学Ⅱ	1			1						15			15
		神経系理学療法演習Ⅱ		1		1						15			15
		神経系理学療法学Ⅲ	1			1					15				15
		神経系理学療法演習Ⅲ		1		1					15				15
		循環理学療法学	1			1					30				30
		呼吸理学療法学	1			1						30			30
		呼吸・循環理学療法演習		1		1					30				30
		正常発達理学療法学	1			1					15				15
		小児系理学療法学	1			1					30				30
		小児系理学療法演習		1		1						30			30
		スポーツ外傷・障害学	1			1					30				30
		アスレチック・リハビリテーション学	1			1						30			30
		アスレチック・リハビリテーション演習		1		1					15	15			30
		日常生活活動学	1			1					30				30
		日常生活活動演習		1		1					30				30
		義肢学	1			1					30				30
		装具学	1			1						30			30
		義肢・装具演習		1		1					15	15			30
		レクリエーション理論	1			1		30							30
		レクリエーション演習		1		1			30						30
		スポーツ・レクリエーション演習		1		1			20						20
	計		16	13	0	29	0	30	50	45	375	270	0	0	770
	地域理学療法学	地域理学療法概論	1			1			30						30
		地域理学療法各論	1			1				30					30
		地域理学療法特論	1			1								30	30
		生活環境論	1			1					30				30
	計		4	0	0	4	0	0	30	30	30	0	0	30	120
	臨床実習	地域理学療法実習			1	1				45					45
		評価実習			3	3						135			135
		総合臨床実習Ⅰ			16	16							720		720
		総合臨床実習Ⅱ													
	計		0	0	20	20	0	0	0	45	0	135	720	0	900
	選択分野	スポーツマネジメント学	1			1		15							15
		運動生理学	1			1			15						15
		トレーニング論	1			1			15						15
		トレーニング演習		1		1				30					30
		エクササイズ指導実習(現場インターンシップ)			1	1					45				45
	計		3	1	1	5	0	15	30	30	45	0	0	0	120
単位数及び時間数の合計			78	25	21	124	420	420	470	480	540	405	720	135	3590
							840		950		945		855		

医療専門課程　作業療法学科　　別表Ⅲ

区分		科目名	単位数				年間授業時数								合計
			講義	演習	実習	計	1年		2年		3年		4年		
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基盤	倫理学	1			1	15								15
		教育原理	1			1	15								15
		心理学	1			1	30								30
		情報科学	1			1	30								30
		文章表現法	1			1	30								30
	人間と生活	公衆衛生学	1			1		30							30
		生物学	1			1	15								15
		英語	1			1	15								15
		医学英語	1			1		30							30
		スポーツ科学	1			1		15							15
	社会の理解	コミュニケーション論	1			1	30								30
		コミュニケーション演習		1		1	15								15
		社会福祉学	1			1	30								30
		人と地域の交流	1			1				15					15
	計		13	1	0	14	225	75	0	15	0	0	0	0	315
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1			1	30								30
		解剖学Ⅱ	1			1	30								30
		解剖学Ⅲ	1			1		30							30
		解剖学演習Ⅰ		1		1	30								30
		解剖学演習Ⅱ		1		1		30							30
		生理学Ⅰ	1			1	30								30
		生理学Ⅱ	1			1		30							30
		生理学演習		1		1			30						30
		運動学Ⅰ	1			1	30								30
		運動学Ⅱ	1			1		30							30
		運動学Ⅲ	1			1		30							30
		運動学実習			1	1				30					30
	計		8	3	1	12	150	150	30	30	0	0	0	0	360
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学Ⅰ	1			1			15						15
		内科学Ⅱ	1			1				30					30
		整形外科学Ⅰ	1			1			15						15
		整形外科学Ⅱ	1			1				30					30
		神経内科学Ⅰ	1			1			15						15
		神経内科学Ⅱ	1			1				30					30
		小児科学	1			1				30					30
		外科学	1			1				15					15
		脳外科学	1			1				15					15
		病理学	1			1			30						30
		環境感染症概論	1			1			15						15
		救急救命法	1			1		30							30
		栄養学	1			1	15								15
		人間発達学	1			1			30						30
		老年期障害学	1			1				30					30
		精神医学Ⅰ	1			1	15								15
		精神医学Ⅱ	1			1		30							30
		心理療法	1			1			30						30
		臨床心理学	1			1			30						30
	計		19	0	0	19	30	60	180	180	0	0	0	0	450
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	1			1	15								15
		リハビリテーション各論	1			1		30							30
		リハビリテーション医学	1			1				30					30
		リハビリテーション工学	1			1								15	15
	計		4	0	0	4	15	30	0	30	0	0	0	15	90
	基礎作業療法学	作業療法概論	1			1			30						30
		基礎作業学Ⅰ	1			1			30						30
		基礎作業学Ⅱ	1			1				30					30
		基礎作業学実習Ⅰ			1	1			45						45
		基礎作業学実習Ⅱ			1	1				45					45
		作業療法研究法Ⅰ	1			1				15					15
		作業療法研究法Ⅱ		1		1					15	15			30
	計		4	1	2	7	0	0	105	90	15	15	0	0	225
		基礎評価学Ⅰ	1			1		30							30
		基礎評価学Ⅱ	1			1			30						30

医療専門課程　作業療法学科　　別表Ⅲ

区分	科目名	単位数 講義	演習	実習	計	年間授業時数 1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	合計
作業療法評価学	作業療法評価学	1			1				30					30
	作業療法評価演習Ⅰ		1		1					30				30
	作業療法評価演習Ⅱ		1		1						30			30
	作業療法評価演習Ⅲ		1		1						30			30
	基礎評価演習Ⅰ		1		1		30							30
	基礎評価演習Ⅱ		1		1			30						30
計		3	5	0	8	0	60	60	30	30	60	0	0	240
作業治療学	身体障害作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
	身体障害作業療法学Ⅱ	1			1					15	15			30
	身体障害作業療法学Ⅲ	1			1					15	15			30
	身体障害作業療法学Ⅳ	1			1						30			30
	身体障害作業療法学Ⅴ	1			1						15			15
	精神障害作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
	精神障害作業療法学Ⅱ	1			1						30			30
	精神障害作業療法演習		1		1						30			30
	発達障害作業療法学	1			1					30				30
	発達障害作業療法演習		1		1						30			30
	老年期障害作業療法学	1			1					30				30
	老年期障害作業療法演習		1		1						30			30
	レクリエーション理論	1			1		30							30
	レクリエーション演習		1		1					30				30
	義肢・装具学	1			1						30			30
	日常生活活動学	1			1					30				30
	生活環境論	1			1				30					30
	日常生活活動演習		1		1					30				30
	生活環境論演習		1		1					30				30
	作業療法特論Ⅰ	1			1								30	30
	作業療法特論Ⅱ	1			1								30	30
計		15	6	0	21	0	30	0	30	270	225	0	60	615
作業療法管理学	作業療法管理学Ⅰ	1			1								15	15
	作業療法管理学Ⅱ	1			1								15	15
計		2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	30	30
地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ	1			1					30				30
	地域作業療法学Ⅱ	1			1						15			15
	地域作業療法学Ⅲ	1			1								15	15
	地域作業療法学Ⅳ	1			1								15	15
計		4	0	0	4	0	0	0	0	30	15	0	30	75
臨床実習	見学実習			1	1			40						40
	地域作業療法実習			1	1					40				40
	評価実習			3	3						120			120
	総合臨床実習Ⅰ			10	10							400		400
	総合臨床実習Ⅱ			10	10							400		400
計		0	0	25	25	0	0	40	0	40	120	800	0	1000
単位数及び時間数の合計		72	16	28	116	420	405	415	405	385	435	800	135	3400
						825		820		820		935		

教育・社会福祉専門課程　介護福祉学科　　別表Ⅳ

領域		教育内容	授業科目		単位	必須	選択	年間授業時数			
								1年		2年	
			科目名	副題（科目内容）				前期	後期	前期	後期
人間と社会	人間の理解	人間の尊厳と自立	社会学	人間の多面的理解、人間の尊厳、自立・自律した生活、介護における尊厳の保持・自立支援	1	30		30			
			法学	日本国憲法、社会福祉法、人権と尊厳	1	30			30		
		人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	人間関係の形成、コミュニケーションの基礎	1	30			30		
	社会の理解	社会の理解	社会福祉概論Ⅰ	生活と福祉、社会保障制度	1	30		30			
			社会福祉概論Ⅱ	介護保険制度、障害者自立支援制度、介護実践に関連する諸制度	1	30			30		
		選択科目	情報処理入門	情報の概要、情報の影響、コンピューターの使い方、情報処理の方法	1	30				30	
			国語表現法		1	30		30			
			英会話		1	30			30		
			児童福祉	児童福祉の理念、児童福祉法、児童問題、行政、児童と家庭	1	30				30	
			体育講義	スポーツの基本機能、態度を育成して生涯スポーツの基礎を作る	1		16	16			
			体育実技	運動やスポーツの意義、健康と運動の関わり	1		30		30		
			レクリエーション概論	レクリエーションの基礎理論・支援論・事業論	1	30			30		
		小計			12	300	46	106	180	60	0
介護		介護の基本	介護の基本Ⅰ	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	1	30		30			
			介護の基本Ⅱ	自立支援に向けた介護	1	30			30		
			介護の基本Ⅲ	リハビリテーション	1	30				30	
			介護の基本Ⅳ	介護を必要としている人の理解	1	30		30			
			介護の基本Ⅴ	地域連携	1	30				30	
			介護の基本Ⅵ	介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	30					30
		コミュニケーション技術	コミュニケーション技術Ⅰ	介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	1	30		30			
			コミュニケーション技術Ⅱ	点字の理解	1	20					20
			コミュニケーション技術Ⅲ	手話の理解	1	20					20
			コミュニケーション技術Ⅳ	介護におけるチームコミュニケーション	1	30				30	
		生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	生活支援の理解、居住環境の整備	1	30		30			
			生活支援技術Ⅱ	自立に向けた家事の介護	1	30			30		
			生活支援技術Ⅲ	自立の向けた身じたくの介護	1	30			30		
			生活支援技術Ⅳ	自立に向けた移動、食事の介護	1	30		30			
			生活支援技術Ⅴ	自立の向けた入浴・清潔保持、排泄の介護	1	30		30			
			生活支援技術Ⅵ	緊急時対応、自立に向けた睡眠の介護、終末期の介護	1	30					30
			生活支援技術Ⅶ	介護予防とレクリエーションⅠ	1	30				30	
			生活支援技術Ⅷ	介護予防とレクリエーションⅡ	1	30					30
			生活支援技術Ⅸ	家政学（食生活、衣生活、住生活）	1	30		30			
			生活支援技術Ⅹ	家政学実習（食生活、衣生活、住生活）	1	30				30	
		介護過程	介護過程Ⅰ	介護過程の意義・展開	1	30			30		
			介護過程Ⅱ	介護過程の実践的展開	1	30				30	
			介護過程Ⅲ	介護過程とチームアプローチ	1	30				30	
			介護過程Ⅳ	介護実践における事例研究の方法	1	30				30	
			介護過程Ⅴ	介護実践における事例研究実践	1	30					30
		介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	実習に向けた利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践	1	30		30			
			介護総合演習Ⅱ	実習に向けた様々な対象者への介護の理解	1	30			30		
			介護総合演習Ⅲ	実習に向けた多様なサービスの理解	1	30				30	
			介護総合演習Ⅳ	実習に向けた介護計画を作成、実施、評価	1	30					30
		介護実習	介護実習Ⅰ	利用者・家族との関わりを通じたコミュニケーションの実践	3	60		60			
			介護実習Ⅱ	多様なサービスの理解	3	82			82		
			介護実習Ⅲ	様々な対象者への介護の理解	4	142				142	
			介護実習Ⅳ	介護計画の作成修正といった介護過程の展開	5	180					180
		小計			44	1314	0	300	232	412	370
こころとからだのしくみ		発達と老化の理解	発達と老化の理解Ⅰ	人間の成長と発達	1	30			30		
			発達と老化の理解Ⅱ	老化に伴う心身の変化と日常生活	1	30			30		
		認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	医学的側面から見た認知症の理解	1	15		15			
			認知症の理解Ⅱ	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活の援助方法	1	30			30		
			認知症の理解Ⅲ	認知症を取り巻く状況とチームケア	1	15				15	
		障害の理解	障害の理解Ⅰ	障害のとらえ方と障害のある人の生活の理解	1	30			30		
			障害の理解Ⅱ	障害のある人の介護	1	30				30	
		こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみⅠ	こころのしくみ	1	30			30		
			こころとからだのしくみⅡ	からだのしくみと疾病	1	30		30			
			こころとからだのしくみⅢ	身じたく、移動、食事に関連したこころとからだのしくみ	1	30		30			
			こころとからだのしくみⅣ	入浴・清潔保持、排泄、睡眠、死にゆく人に関連したこころとからだのしくみ	1	30		30			
			精神保健		1	30					30
			小児保健Ⅰ	小児の成長と発達と、小児保健に関する統計	1		30	30			
			小児保健Ⅱ	小児の疾患とその予防	1		30		30		
		小計			14	330	60	135	180	45	30
医療的ケア		医療的ケア	医療的ケアⅠ	医療的ケア実施の基礎	1	30			30		
			医療的ケアⅡ	経管栄養の知識・技術	1	30				30	
			医療的ケアⅢ	喀痰吸引の知識・技術	1	30				30	
		小計			3	90			30	60	
合計					73	2034	106	541	622	577	400
卒業に必要な総単位数　69単位					卒業に必要な総時間数　2034時間						

別表Ｖ

納付金一覧表

1.

	区　　分	保健看護学科	理学療法学科 作業療法学科	介護福祉学科
	入学検定料	２０，０００円	２０，０００円	２０，０００円

2.

年　　度	区　　分	保健看護学科	理学療法学科 作業療法学科	介護福祉学科
平成２１年度生 以　　降	入学金	２２０，０００円	２２０，０００円	２２０，０００円
平成２０年度生 以　　前	入学金	２００，０００円	２００，０００円	２００，０００円

3.

年　　度	区　　分	保健看護学科	理学療法学科 作業療法学科	介護福祉学科
平成１３年度生 以　　降	授業料 （年　間）	前期　２４０，０００円 後期　２４０，０００円 計　　４８０，０００円	前期　３２５，０００円 後期　３２５，０００円 計　　６５０，０００円	前期　２３５，０００円 後期　２３５，０００円 計　　４７０，０００円
	施設設備費 （年　間）	前期　１０５，０００円 後期　１０５，０００円 計　　２１０，０００円	前期　１５０，０００円 後期　１５０，０００円 計　　３００，０００円	前期　１０５，０００円 後期　１０５，０００円 計　　２１０，０００円
	実験実習費 （年　間）	前期　　９５，０００円 後期　　９５，０００円 計　　１９０，０００円	前期　１２５，０００円 後期　１２５，０００円 計　　２５０，０００円	前期　　８５，０００円 後期　　８５，０００円 計　　１７０，０００円
	合　計	８８０，０００円	１，２００，０００円	８５０，０００円